



平成29年3月期第2四半期

決算説明資料

本資料は、当社の平成29年3月期第2四半期決算における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	澤田ホールディングス株式会社 (Sawada Holdings Co., Ltd.)		
代表者	代表取締役社長 澤 田 秀 雄		
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階		
設立	昭和33年(1958年)1月21日		
資本金	12,223,312,500円		
グループ会社数	〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕5社		
従業員数	〔グループ全体〕 5,586名	(当社単体)	5名
		(連結子会社)	4,904名
		(持分法適用関連会社)	677名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	41,485,895,500円

平成28年9月末時点

昭和33年 1月	当社(協立証券(株))設立
平成11年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任
平成11年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
平成13年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
平成16年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場(証券コード:8699)
平成18年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
平成19年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継

〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕5社

《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

平成28年9月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	● ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	54.41%
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	40.00%
証券	● エイチ・エス証券株式会社	100.00%
損害保険	▲ エイチ・エス損害保険株式会社	49.63%
債権管理回収	● エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲ 株式会社外為どっとコム	40.14% ※3
ベンチャーキャピタル	▲ エイチ・エス・アシスト株式会社	37.59%
少額短期保険	▲ エイチ・エスライフ少額短期保険株式会社	19.50% ※1
【再生ビジネス】		
IT (デジタルコンテンツ事業)	● iXIT株式会社 ※2	100.00%

■ 当連結会計年度より、(株)インデックス(現 iXIT(株))を連結子会社とした。

■ (※1) 平成28年4月、エイチ・エスライフ少額短期保険(株)が第三者割当増資を実施したことにより、当社が保有する同社の議決権比率は21.38%から19.50%となる。

■ 平成28年5月、当社が保有する(株)アスコットの株式の一部を売却したことにより、同社は当社の連結子会社から除外。

■ (※2) 平成28年7月、(株)インデックスからiXIT(株)に社名変更。

■ (※3) 平成28年8月、同社の既存株主から株式を取得したことにより、当社が保有する同社の議決権比率は39.64%から40.14%となる。

《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	平成15年 国際競争入札により株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	平成24年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス証券株式会社	平成18年 設立（平成19年 当社の証券事業を承継）
▲ エイチ・エス損害保険株式会社	平成17年 設立（平成19年 営業開始）
● エイチ・エス債権回収株式会社	平成18年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	平成17年 株式を取得
▲ エイチ・エス・アシスト株式会社	平成18年 株式を取得
▲ エイチ・エスライフ少額短期保険株式会社	平成22年 設立（平成23年 営業開始）
● iXIT株式会社	平成27年 株式を取得

連結業績

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成28年3月期 第2四半期 (平成27年4月～9月)	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4月～9月)	前年同期比
営業収益	28,393	23,891	84.1%
純営業収益	14,652	10,786	73.6%
営業利益	5,520	2,550	46.2%
経常利益	5,609	2,517	44.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,635	2,360	64.9%

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成28年3月期 (平成28年3月末時点)	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年9月末時点)	前年同期比
総資産	372,446	347,581	93.3%
純資産	61,876	59,975	96.9%
現預金	61,015	74,625	122.3%

主な増減要因

- 【銀行関連事業】モンゴル最大のリテール銀行であるハーン銀行(Khan Bank LLC)の業績は、営業収益は増加しているものの、資金調達費用の増加や、為替ヘッジを目的とするスワップ取引において評価損を計上したため、前年同期比で減益。また、現地通貨安(円高)も当社の連結決算(円建て)に影響。

営業収益 202億73百万円 (前年同期比 9億33百万円減)

営業利益 23億41百万円 (前年同期比 20億9百万円減)

- 【証券関連事業】国内株式市場は、株価の停滞や売買代金の減少が続く中、エイチ・エス証券(株)は受入手数料等が減少し、前年同期比で減益。

営業収益 15億94百万円 (前年同期比 6億52百万円減)

営業利益 10百万円 (前年同期比 4億42百万円減)

- 第1四半期において(株)アスコットの株式を一部売却したため、同社は第1四半期より連結の範囲から除外。これにより、同社の業績は当社の連結決算に反映されなくなった。
(前年同期における不動産関連事業の営業収益は42億13百万円、営業利益は4億30百万円)

- (株)外為どっとコムが増収増益等により、持分法による投資損益は2億64百万円(前年同期比1億27百万円増)となる。

- 平成28年初めより為替が円高傾向で推移したことにより、為替差損3億42百万円を計上(前年同期の為替差損は52百万円)。

- (株)アスコット株式の一部売却により関係会社株式売却益12億8百万円を計上(前年同期は関係会社株式売却損83百万円)。一方で、投資有価証券売却益は2億12百万円(前年同期比6億31百万円減)に留まる。

セグメント別業績

平成29年3月期第2四半期 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	20,273	1,594	1,286	765	296	23,891
営業費用	17,931	1,584	1,165	816	139	21,341
営業利益	2,341	10	120	△50	157	2,550
経常利益	2,341	39	95	△49	274	2,517

平成28年3月期第2四半期 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	不動産 関連事業	その他事業	連結
営業収益	21,207	2,246	741	4,213	391	28,393
営業費用	16,775	1,794	652	3,782	146	22,872
営業利益	4,432	452	89	430	245	5,520
経常利益	4,432	473	67	373	555	5,609

※ 上表の「連結」は、内部取引を控除後の数値を表示。

※ 当連結会計年度より、(株)インデックス(現iXIT(株))を連結子会社としたことに伴い報告セグメントに「IT関連事業」を追加し、(株)アスコットを連結子会社から除外したことに伴い報告セグメントから「不動産関連事業」を削除。

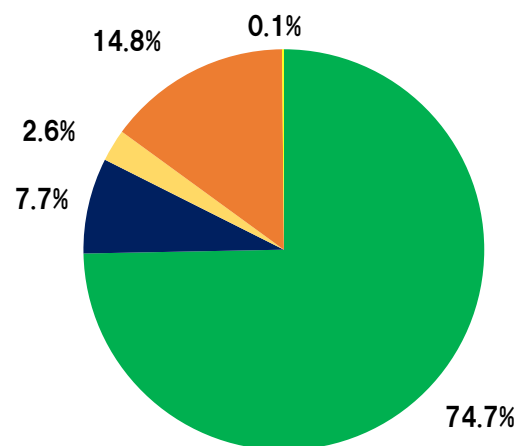
営業収益の構成

事業別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

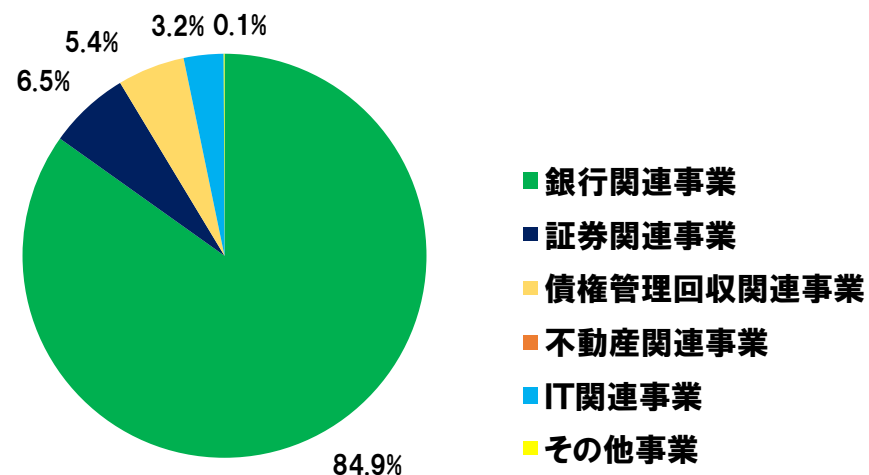
（単位：百万円）

セグメント \ 期間	平成28年3月期第2四半期 （平成27年4月～9月）	平成29年3月期第2四半期 （平成28年4月～9月）	前年同期比
銀行関連事業	21,207	20,273	95.6%
証券関連事業	2,191	1,554	70.9%
債権管理回収関連事業	741	1,286	173.5%
不動産関連事業	4,213	-	-
IT関連事業	-	763	-
その他事業	39	14	35.7%
合計	28,393	23,891	84.1%

平成28年3月期第2四半期
28,393百万円



平成29年3月期第2四半期
23,891百万円



澤田ホールディングス(株)【個別業績】

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成28年3月期 第2四半期 (平成27年4月～9月)	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4月～9月)	前年同期比
営業収益	400	507	126.7%
営業利益	264	368	139.3%
経常利益	432	221	51.2%
四半期純利益	2,283	808	35.4%
総資産 (前期末 / 当四半期末)	26,412	27,031	102.3%
純資産 (前期末 / 当四半期末)	23,924	24,766	103.5%

主な増減要因

- (株)アスコット株式の一部売却により、関係会社株式売却益6億68百万円を特別利益として計上。なお、前期は九州産業交通ホールディングス(株)株式の一部売却による関係会社株式売却益25億14百万円を計上しており、前年同期比では減益。
- 関係会社受取配当金が前年同期比で増加したこと等により、営業収益・営業利益は前年同期比で増加。
- 為替差損の増加により、経常利益は前年同期比で減少。

ハーン銀行(Khan Bank LLC)

(単位:百万MNT)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC)	科目	期間	平成27年12月期 第2四半期 (平成27年1月～6月)	平成28年12月期 第2四半期 (平成28年1月～6月)	前年同期比
所在地	モンゴル国ウランバートル市	Interest income (資金運用収益)		294,466	315,202	107.0%
資本金	52,792百万MNT (MNT:トゥグルグ)	Net interest income (純資金運用収益)		130,992	118,361	90.4%
議決権の 所有割合	54.41%	Profit for the period (四半期純利益)		64,305	45,981	71.5%
主要事業	銀行業	Total Assets (総資産) (前期末/当四半期末)		5,006,459	5,638,214	112.6%

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のE-バンキングサービスの他、預入れができる(紙幣還流式)ATMの設置にも注力

概況

- ハーン銀行の業績(現地通貨ベース)は、融資残高は前年同期比で同水準、預金残高と資金運用収益は前年同期比で増加。しかしながら、資金調達費用の増加や、為替ヘッジ目的のスワップ取引評価損を計上したため、前年同期比で減益。
- モンゴル経済は減速傾向であるが、世界屈指の銅・金鉱山(オクトルゴイ鉱山)の第2フェーズ開発(坑内掘り)の開始や、モンゴル初の経済連携協定(EPA)である日本・モンゴル間のEPAの発効など、今後の経済発展も期待される。
- E-バンキングサービスの推進、モンゴル初となる紙幣還流式ATMの増設等により、支店の混雑は大幅に緩和。
- モンゴルの経済動向を注視し、今後も慎重な姿勢で経営に臨む。

	平成27年6月末	平成28年6月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	2,689,992	3,629,818	134.9%
Loans and advances to customers (融資残高) (百万MNT)	3,040,364	3,026,207	99.5%

【為替レート】
平成28年6月末
1円 = 19.31MNT
平成28年1月～6月平均
1円 = 17.87MNT

(単位:百万円)

商 号	エイチ・エス証券株式会社	科目 \ 期間	平成28年3月期 第2四半期 (平成27年4月～9月)	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4月～9月)	前年同期比
所 在 地	東京都新宿区	営 業 収 益	2,246	1,594	71.0%
資 本 金	3,000百万円	営 業 利 益	452	10	2.3%
議 決 権 の 所 有 割 合	100.00%	経 常 利 益	473	39	8.4%
主 要 事 業	第一種金融商品取引業(証券業)	四半期純利益	942	173	18.4%
		総 資 産 (前期末/当四半期末)	42,387	37,647	88.8%

会社プロフィール

- ① 当社の前身であり、国内外の株式・債券・投資信託等を幅広く取り扱うとともに、投資銀行部門も有する総合証券会社
- ② 平成19年、証券会社であった当社が持株会社体制に移行する際、会社分割により同社に証券事業等を承継

概 況

- 国内株式市場の下落及び売買代金の減少を受け、委託手数料の減少等により、前年同期比で減収減益。
- 新興国通貨建て債券や米国株式を中心とした外国株式の販売に注力したものの、預り資産は前年同期比で減少。
- 外部環境に左右されない安定的収益の確保、認知度の向上及び同業他社との差別化を目指す。
- 10月よりインターネット取引システムを全面的に刷新し、リッチクライアント型のデイトレーダー向け取引ツール「HSTレーダープレミアムⅡ」をリリース。
- IPO(新規公開)3社、PO(既公開)1社の幹事に参入。

	平成27年9月末	平成28年9月末	前年同期比
預り資産残高 (百万円)	340,124	316,619	93.1%

エイチ・エス損害保険(株)

(単位:百万円)

商 号	エイチ・エス損害保険株式会社	科目	平成28年3月期 第2四半期 (平成27年4月～9月)	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4月～9月)	前年同期比
所 在 地	東京都新宿区	経 常 収 益	1,624	1,653	101.8%
資 本 金	1,612百万円	経 常 利 益	△ 141	25	-
議 決 権 の 所 有 割 合	49.63%	四半期純利益	△ 103	14	-
主 要 事 業	損害保険業	総 資 産 (前期末/当四半期末)	3,825	3,839	100.4%

会社プロフィール

- ① 海外旅行保険を主力商品とする損害保険会社
- ② 平成28年4月、海外サポート業務及び事故受付業務を子会社のエイチ・エスサポートセンター(株)を通じて提供開始。

概 況

- テロ等の影響により欧州への海外旅行は苦戦したものの、アジアへの旅行の回復など、日本人出国者数は増加傾向にあることから、海外旅行保険は堅調に推移。また、保険金支払や支払備金の繰入額の減少もあり、前年同期比で増益。
- 9月より、業界初「通貨盗難補償特約」付き海外旅行保険の販売を開始。販促に注力し、収入保険料の積み上げを図る。
- 平成28年7月1日～9月30日、ネット海外旅行保険の契約キャンペーン『夏たび応援フェア』を開催。

	平成27年9月末	平成28年9月末	前年同期比
契約件数(累計) (件)	309,499	304,993	98.5%
収入保険料(累計) (百万円)	2,156	2,157	100.0%

エイチ・エス債権回収(株)

(単位:百万円)

商 号	エイチ・エス債権回収株式会社	科目	平成28年3月期 第2四半期 (平成27年4月～9月)	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4月～9月)	前年同期比
所 在 地	東京都港区	営 業 収 益	741	1,286	173.5%
資 本 金	500百万円	営 業 利 益	89	120	135.6%
議 決 権 の 所 有 割 合	100.00%	経 常 利 益	67	95	142.6%
主 要 事 業	債権管理回収業	四半期純利益	39	63	159.8%
		総 資 産 (前期末/当四半期末)	2,833	2,837	100.1%

会社プロフィール

- ① 平成18年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- ② 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

概 況

- 前期(平成28年3月期)における買取案件からの回収が、担保付債権、無担保・無剰余債権ともに好調に推移。また、回収の早期化等により、買取債権回収高も大幅に増加。
- 金融機関等の債権者から債権を直接買取る「買取型サービサー」として、積極的にバルクセールへ参加。また、取引金融機関は順調に増加。
- 更なる債権の確保のため、メガバンク・地方銀行へのアプローチを強化し、事業再生案件に取り組むなど、事業の多様化を図る。

	平成27年9月末	平成28年9月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収 (百万円)	523	1,091	208.7%
回収受託手数料(集金代行を含む) (百万円)	176	130	73.7%

(単位:百万円)

商 号	株式会社外為どっとコム	科目 \ 期間	平成28年3月期 第2四半期 (平成27年4月～9月)	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4月～9月)	前年同期比
所 在 地	東京都港区	営 業 収 益	3,445	3,957	114.9%
資 本 金	778百万円	営 業 利 益	1,255	1,579	125.8%
議 決 権 の 所 有 割 合	40.14%	経 常 利 益	1,334	1,462	109.6%
主 要 事 業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)	四半期純利益	859	999	116.3%
		総 資 産 (前期末/当四半期末)	130,288	130,034	99.8%

会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 平成26年より主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド提供を開始

概 況

- 6月下旬の英国のEU離脱を決定する国民投票前後において、英ポンドを中心に外国為替市場のボラティリティ(価格の変動率)が拡大したことに加え、実施した各種施策の成果により新規顧客が増加した結果、前年同期比で増収増益を継続。
- 「香港ドル/円」を除く全通貨ペアにおいて、業界最狭水準のスプレッドを提供中。
- 10月より、顧客の取引に応じたキャッシュバックキャンペーンを強化。
(キャッシュバックの適用による「米ドル/円」のスプレッドは実質0.25銭)

	平成27年9月末	平成28年9月末	前年同期比
口座数 (件)	401,289	430,018	107.2%
預り資産残高 (百万円)	110,572	112,321	101.6%

ソリッド銀行(JSC Solid Bank)

(単位:百万RUB)

商 号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	科目	期間	平成27年12月期 第2四半期 (平成27年1月～6月)	平成28年12月期 第2四半期 (平成28年1月～6月)	前年同期比
所 在 地	ロシア連邦 カムチャツカ地方 ペトロパブロフスク・カムチャツキー市	Net interest income (純資金運用収益)		263	167	63.5%
資 本 金	1,782百万RUB (RUB:ルーブル)	Net operating income (純業務収益)		314	369	117.4%
議 決 権 の 所 有 割 合	40.00%	Profit for the period (四半期純利益)		△ 191	△ 119	-
主 要 事 業	銀行業	Total Assets (総資産) (前期末/当四半期末)		11,424	10,290	90.1%

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概 況

- ロシアの厳しい経済状況を背景として融資残高は減少し、引当金も積み増しとなる。一方で、非業務収益が前年同期比で増加したことを受け、赤字幅は前年同期比で改善。
- ロシアの実質GDP(4-6月)は前年同期比0.6%減少。原油価格の緩やかな回復等により、マイナス幅は縮小傾向。しかしながら、欧米諸国による経済制裁は継続しており、依然として厳しい経済環境にある。
- ソリッド銀行は、貸出審査及びリスク管理を大幅に厳格化し、融資残高の増大を抑制。また、非金利収入の増大を図るため、クレジットリスクの低い商品開発、保証業務等や貴金属取引のサービスの拡大に取り組む。

	平成27年6月末	平成28年6月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	8,754	8,925	102.0%
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	8,308	6,736	81.1%

【為替レート】
平成28年6月末
1RUB = 1.62円
平成28年1月～6月平均
1RUB = 1.62円

《連結》

(単位:百万円)

商 号	iXIT株式会社	科目 \ 期間	平成28年3月期 第2四半期 (平成27年4月～9月)	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4月～9月)	前年同期比
所 在 地	東京都世田谷区	売 上 高	-	765	-
資 本 金	300百万円	営 業 利 益	-	△ 58	-
議 決 権 の 所 有 割 合	100.00%	経 常 利 益	-	△ 56	-
主 要 事 業	デジタルコンテンツ事業	四半期純利益	-	△ 154	-
		総 資 産 (前期末/当四半期末)	-	779	-

会社プロフィール

- ① デジタルコンテンツ配信やモバイルアプリケーション開発を展開。
- ② 平成27年12月、当社は企業の育成・再生事業として(株)インデックスの株式を取得し、当社グループの一員となる。

概 況

- スマートフォン市場は販売台数の増加・高機能化を背景に、サービスの多様化・同業他社との競争激化が進む中、月額課金モデルの事業における会員数及び受託開発案件は減少。さらに、ソフトウェアの減損実施による特別損失の計上の結果、業績は低迷。
- 平成28年4月より経営体制を一新し、抜本的な組織改編を実施し、営業の強化及びコスト削減を実行。既存事業の契約・売上増加の他、新規事業・新規顧客の開拓を図る。また、7月より会社名を「iXIT株式会社(読み:イグジット)」に変更。
- 8月よりiXITとフジテレビが共同運営のポイントサービス「たまる！」のサービスを開始。10月より放送開始の「メディアミックスα」との連動企画を開始するなど、サービスやコンテンツの提供を目指す。

※ 当社は、当連結会計年度(平成29年3月期)よりiXIT株式会社を連結の対象としているため、同社の前期の数値は非表示。

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	■ 当第2四半期連結累計期間における当社の連結財務諸表の作成に当たっては、両行における第2四半期決算日(6月30日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、平成28年1月～6月(又は6月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)		

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	平成27年12月期第2四半期		平成28年12月期第2四半期	
		期末レート (平成27年6月末)	平均レート (平成27年1月～6月)	期末レート (平成28年6月末)	平均レート (平成28年1月～6月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円＝16.04MNT	1円＝16.17MNT	1円＝19.31MNT	1円＝17.87MNT
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB＝2.19円	1RUB＝2.10円	1RUB＝1.62円	1RUB＝1.62円